



写真：ノコギリクワガタ（撮影：平成30年6月18日）

「ノコギリクワガタ」

古くから少年たちの人気者

夏 休み、早朝からカブトムシ、クワガタムシ採集。ドキドキしながらクリやコナラなどの木を見て回る思い出は、昆虫少年なら誰もが記憶に残っているのではないだろうか。市内全域で見られるノコギリクワガタ。顎の内側にのこぎりのように歯が並んでいることが名前の由来。何といても湾曲した顎が特徴で、他のオスや、樹液酒場でカブトムシなどとケンカをする強力な武器になっています。日中は、他のクワガタと比べると活動していることが多いですが、主に枝にしがみついたりジツとしています。振動を感じると身を守るために落下する習性があり、木を蹴るとポトポト落ちてくるのはこのためです。野外に出た成虫は、その夏で力を使い果たし死んでしまいます。「かわいそう」ということはなく、進化の中で彼らを選んだ道なのでしょう。霧島山の夏が始まります。夏の日の思い出、ドキドキとクワガタムシを探しに山に足を運んでみませんか。

（文／えびのエコミュージアムセンター）

ノコギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus* コウチュウ目 クワガタムシ科